

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年 6月21日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 宮城県仙台市若林区五橋3-2-1  
氏 名 東日本電信電話株式会社 宮城事業部  
執行役員 宮城事業部長 須藤 博史  
電話番号 022-281-8716

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物  
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東日本電信電話株式会社 宮城事業部 岩手支店 県内各所 (盛岡市を除く)
事業場の所在地	岩手県盛岡市中央通1丁目2-2 県内各現場(盛岡市を除く)
事業の種類	地域電気通信業(3711)
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,021.46 t	全処理委託量	2,021.46 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	196.96 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	2,021.46 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 別 紙 〕

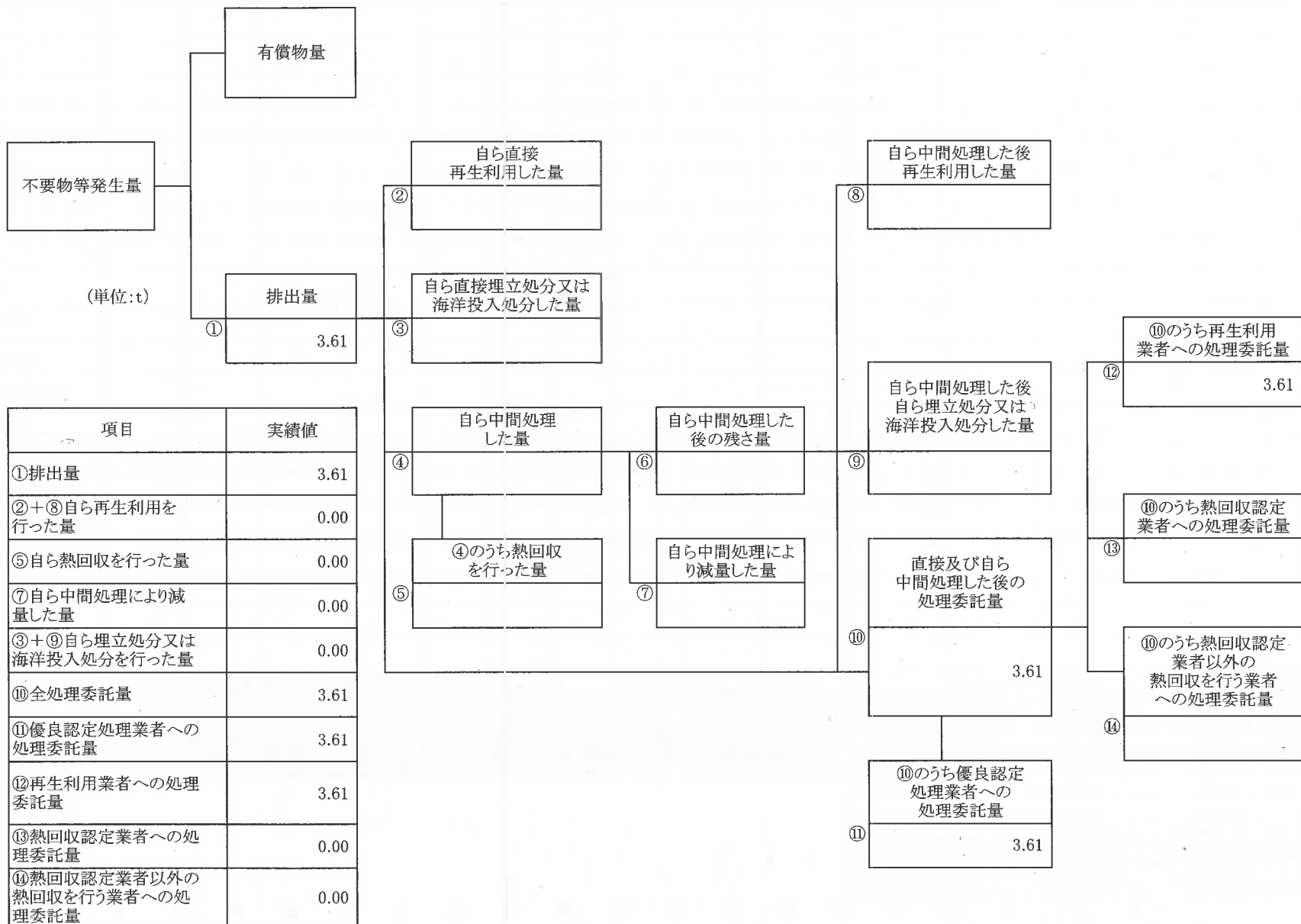
排 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況													( ⑩ = ① - ② - ③ - ④ + ⑥ - ⑧ - ⑨ = ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬ + ⑭ )					② + ⑬	④ + ⑤
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤ ④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の焼く量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 焼却委託量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分		⑪熱回収認定事業者 への処理委託量(t)	⑫熱回収認定事業者以外 の熱回収委託量(t)	⑬その他の中間処理 委託量(t)	⑭埋立処分委託量(t)	⑮優良認定埋立業者 への焼却委託量(t)	⑯の量のうち、自ら埋 立処分又は海洋投入 処分した量	⑰の量と⑱の量を合 計したもの(自動計 算)	⑲の量と⑳の量を合 計したもの(自動計 算)
コード 参照	名 称	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の自給中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自 立処分及び海洋投入 処分した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入 処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑯の量のうち、焼却業者への再生利用委託量(⑯、⑰除く)	⑯の量のうち、認定熱回収施設設置者である焼却業者への焼却処理委託量	⑯の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑯の量のうち、委託して 破砕等の中間処理した量 (⑯～⑰を除く)	⑯の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑯の量のうち、優良認定埋立業者への委託 処理量				
1	600 ①廃プラスチック類	3.61					0.00				3.61	3.61					3.61	0.00	0.00		
2	1200 ②金属くず	111.55					0.00				111.55	111.55					111.55	0.00	0.00		
3	1500 ③がれき類	1366.74					0.00				1366.74	1366.74					0.00	0.00	0.00		
4	1300 ④ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.81					0.00				0.81	0.81					0.36	0.00	0.00		
5	2100 ⑤安定型混合廃棄物	36.00					0.00				36.00	36.00					33.67	0.00	0.00		
6	3100 ⑥電気機械器具	67.92					0.00				67.92	67.92					67.92	0.00	0.00		
7	800 ⑦木くず	0.62					0.00				0.62	0.62					0.62	0.00	0.00		
8	700 ⑧紙くず	0.00					0.00				0.00	0.00					0.00	0.00	0.00		
9	3111 ⑨水銀使用製品	0.00					0.00				0.00	0.00					0.00	0.00	0.00		
10	3520 ⑩乾電池	0.00					0.00				0.00	0.00					0.00	0.00	0.00		
11	200 ⑪汚泥	0.00					0.00				0.00	0.00					0.00	0.00	0.00		
12	⑫						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
13	⑬						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
14	⑭						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
15	⑮						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
16	⑯						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
17	⑰						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
18	⑱						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
19	⑲						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
20	⑳						0.00				0.00	0.00						0.00	0.00		
合計		1587.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1587.25	1587.25	0.00	0.00	0.00	0.00	217.75	0.00	0.00		

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。  
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じて、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。

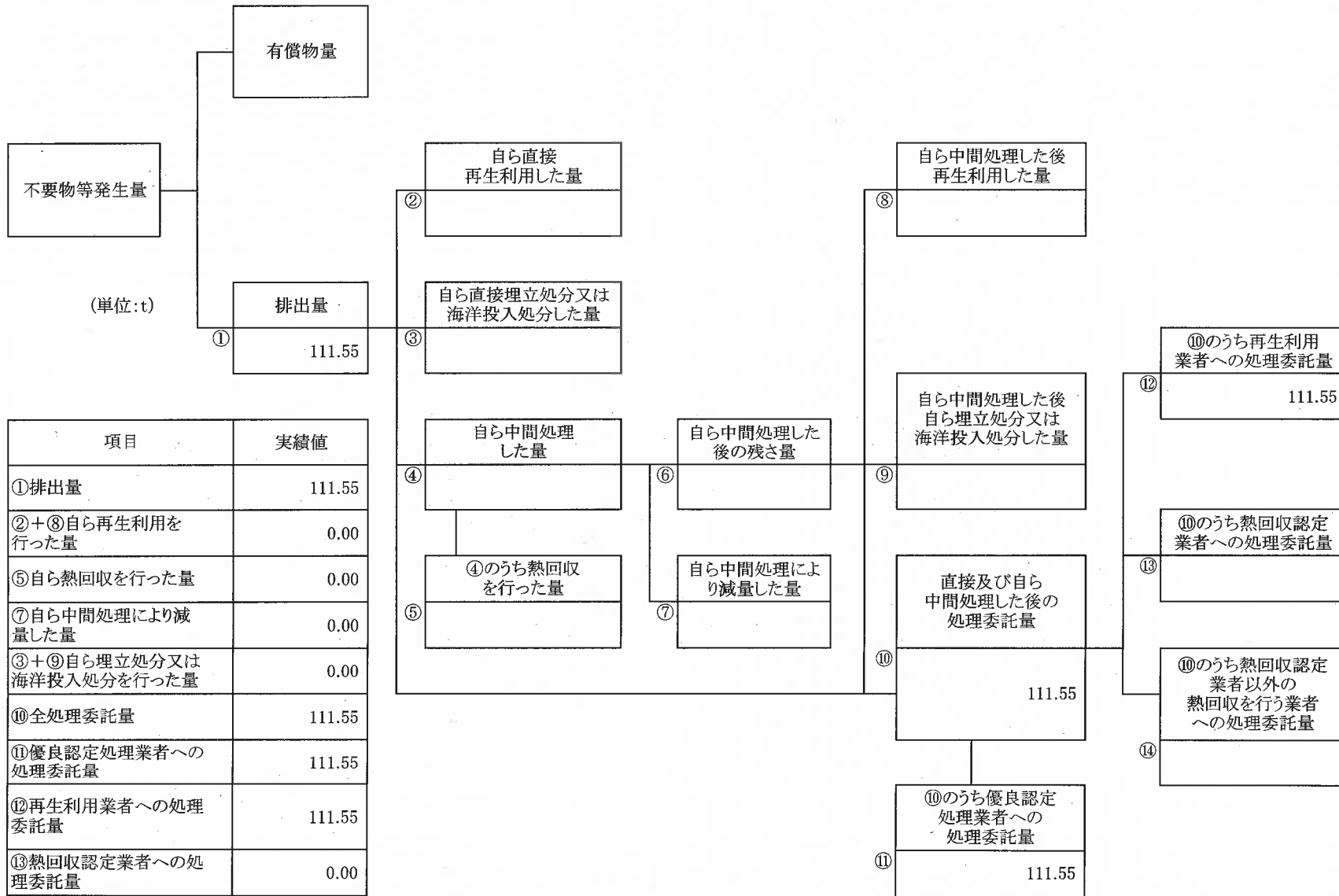
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず )



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)

不要物等発生量

有償物量

(単位: t)

排出量

1,366.74

自ら直接  
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量

③

自ら中間処理した後  
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量

⑨

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫

1,366.74

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量

⑭

項目	実績値
①排出量	1,366.74
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,366.74
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	1,366.74
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

自ら中間処理  
した量

④

自ら中間処理した  
後の残さ量

⑥

④のうち熱回収  
を行った量

⑤

自ら中間処理により  
減量した量

⑦

直接及び自ら  
中間処理した後の  
処理委託量

⑩

1,366.74

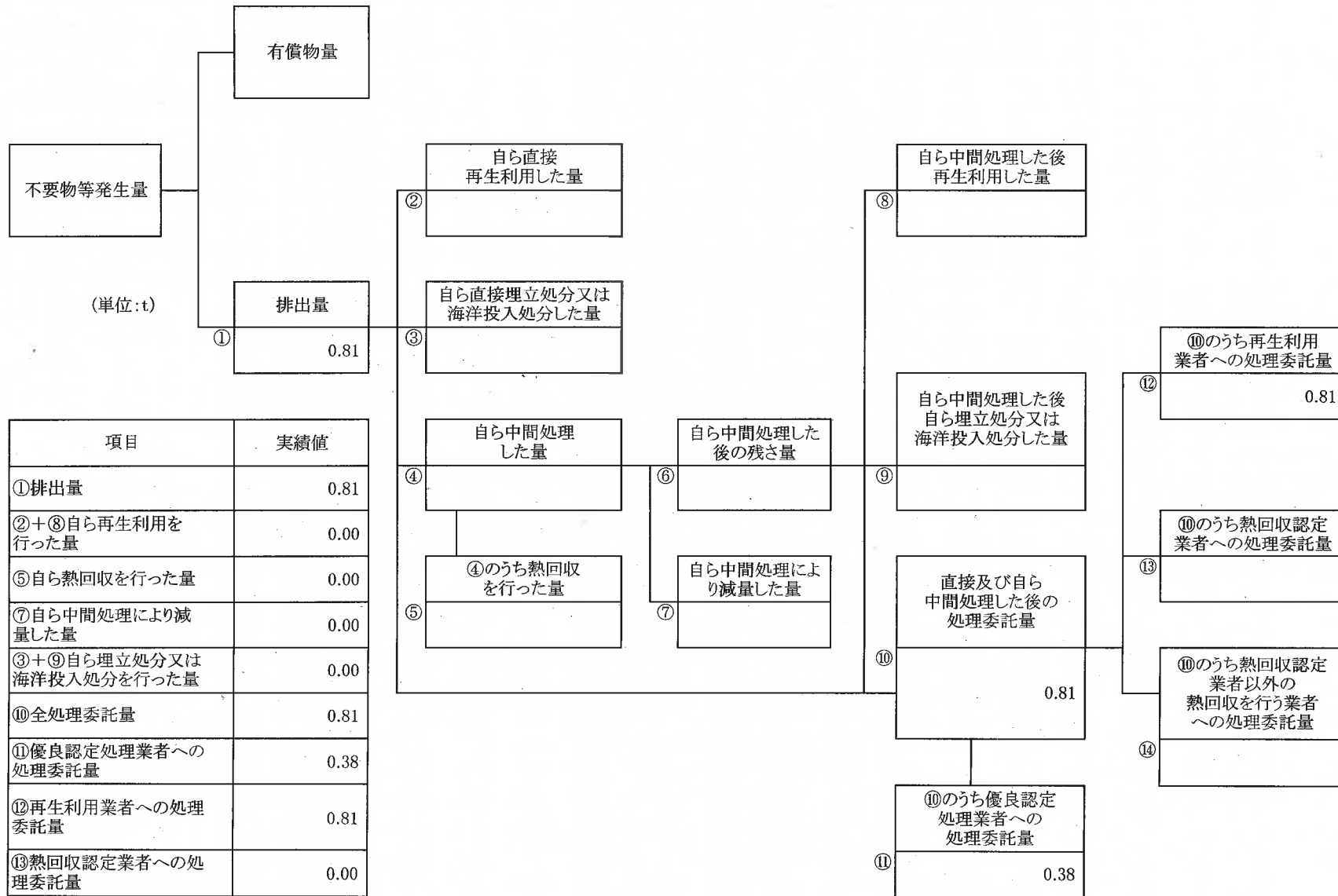
⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪

0.00

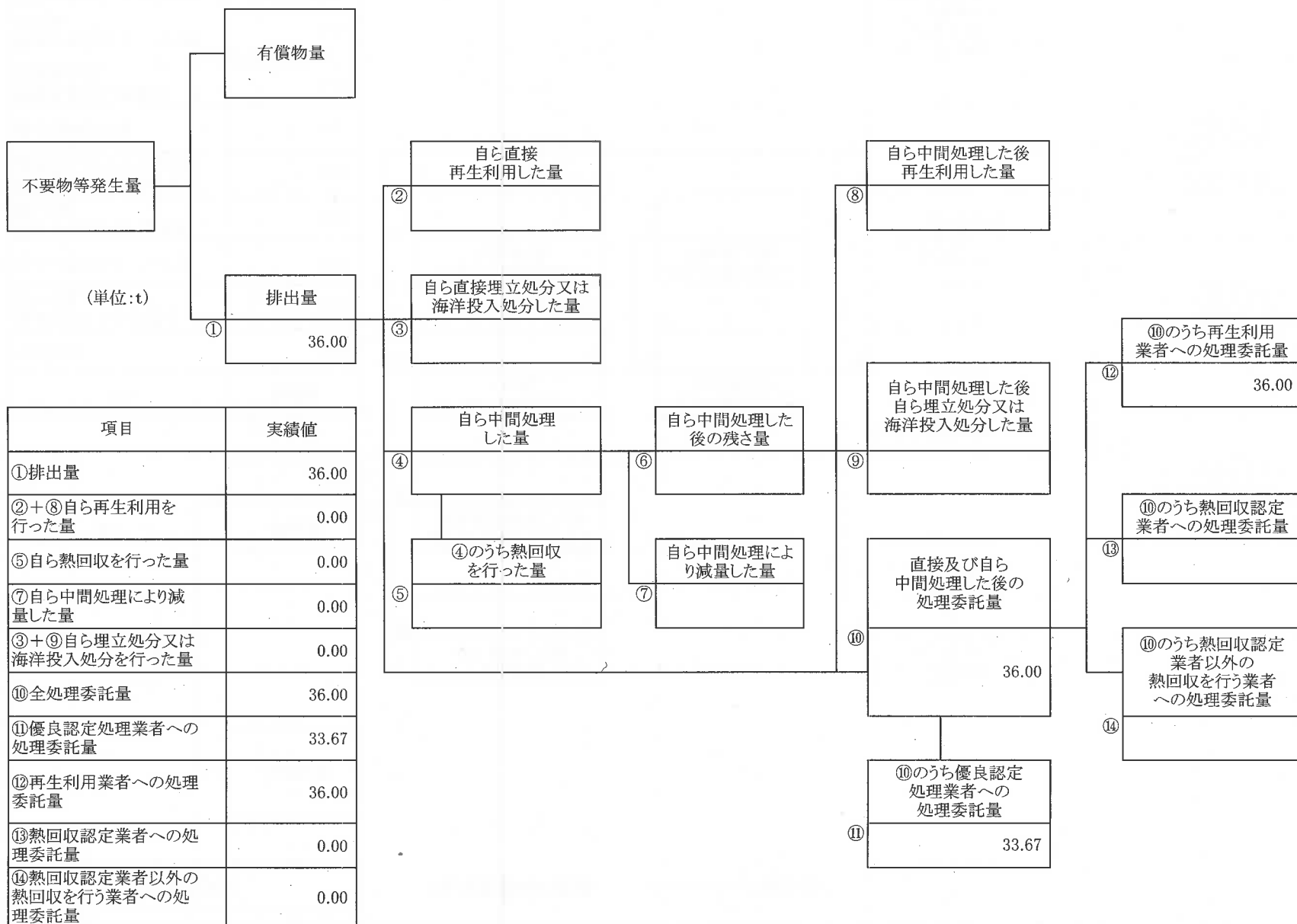
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず )



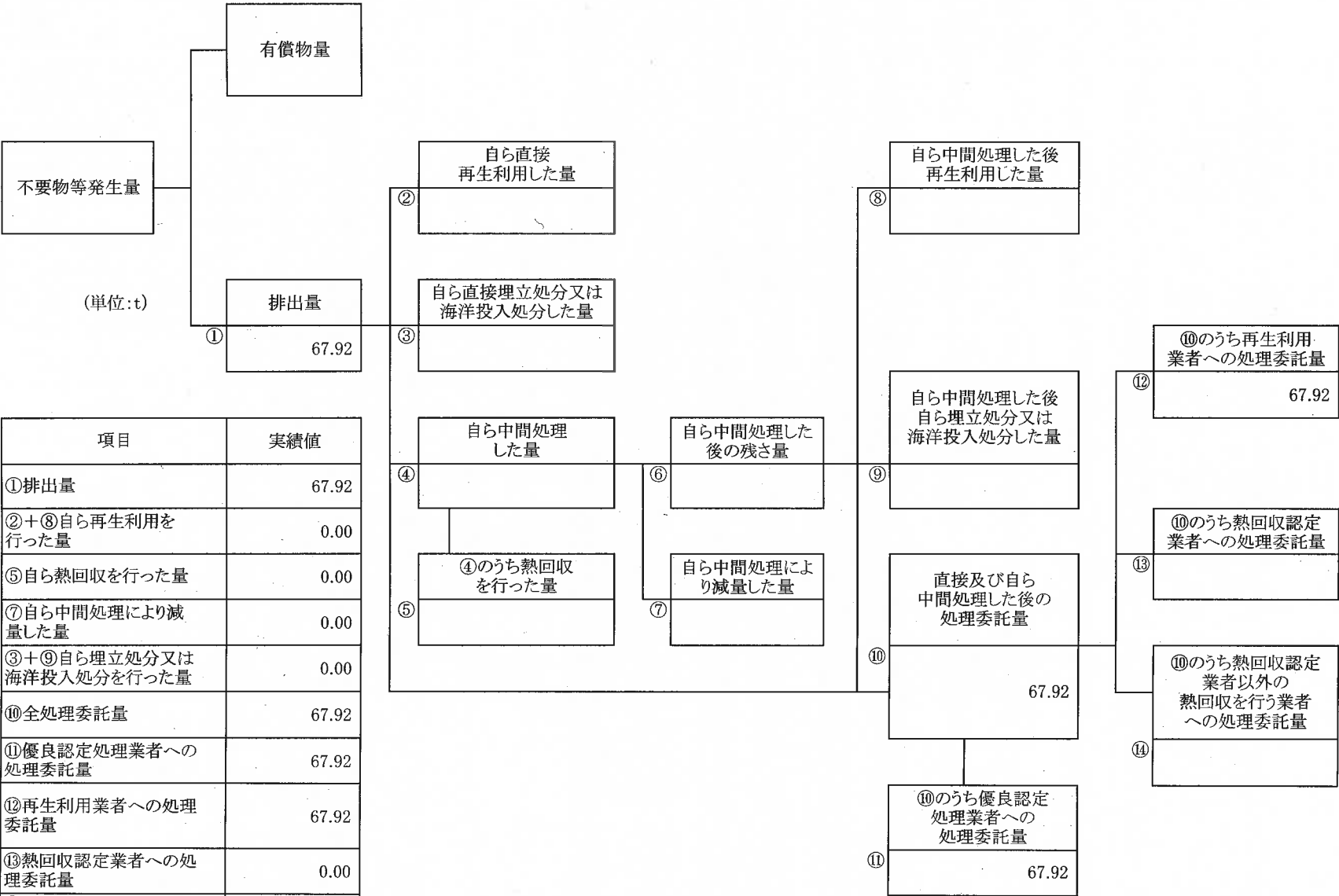
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 安定型混合廃棄物)



## 計画の実施状況

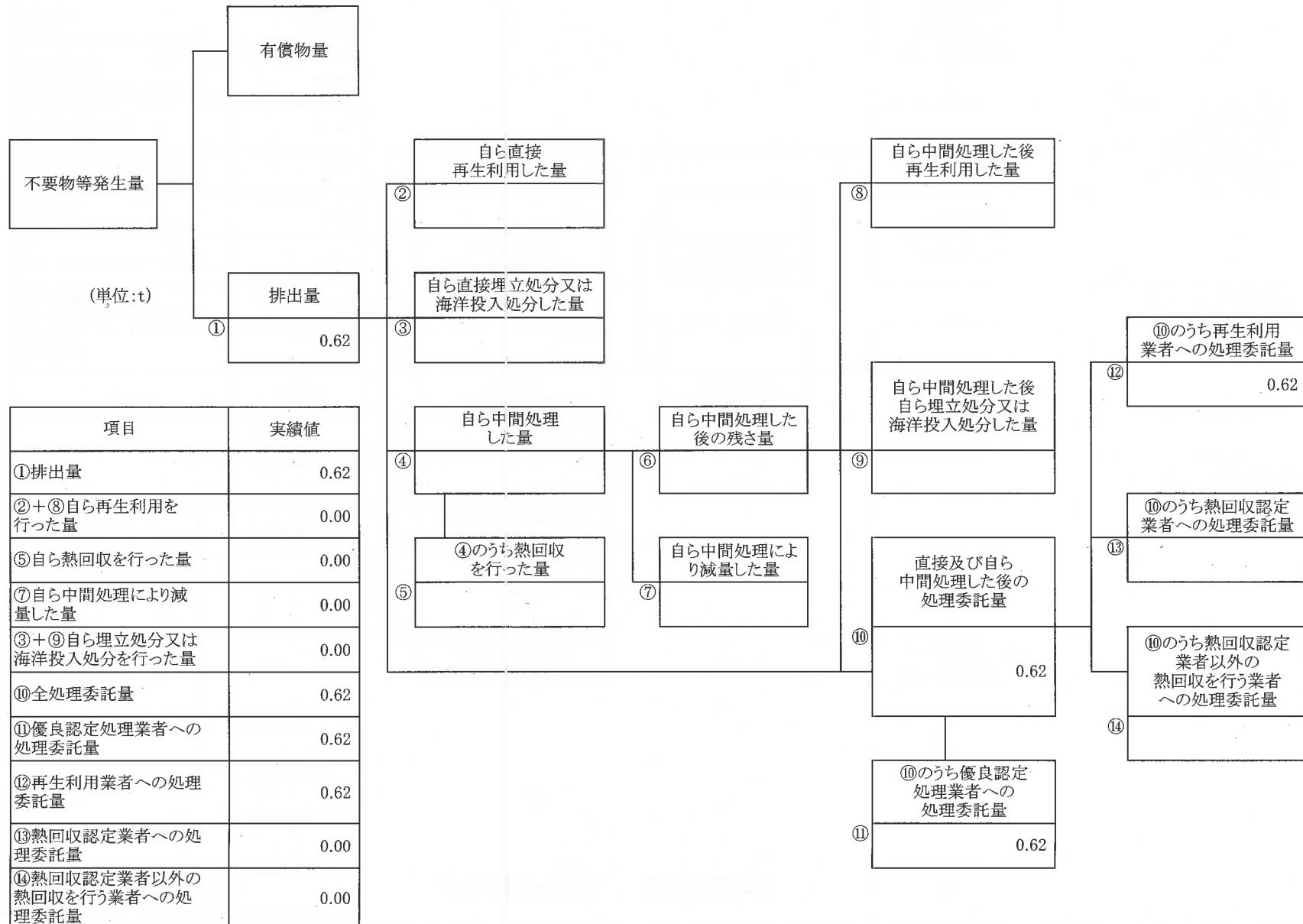
(産業廃棄物の種類: 廃電気機械器具 )





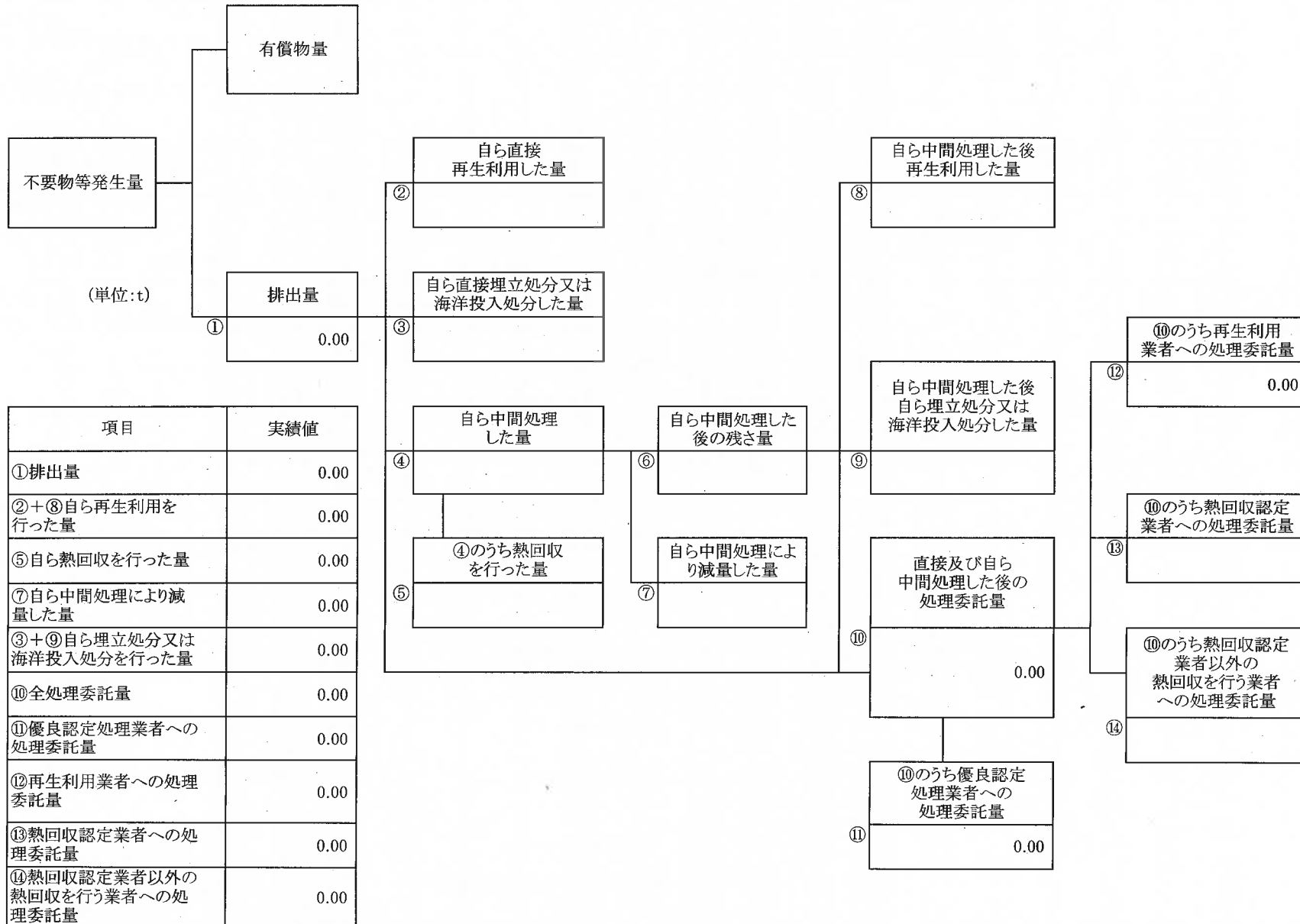
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず )



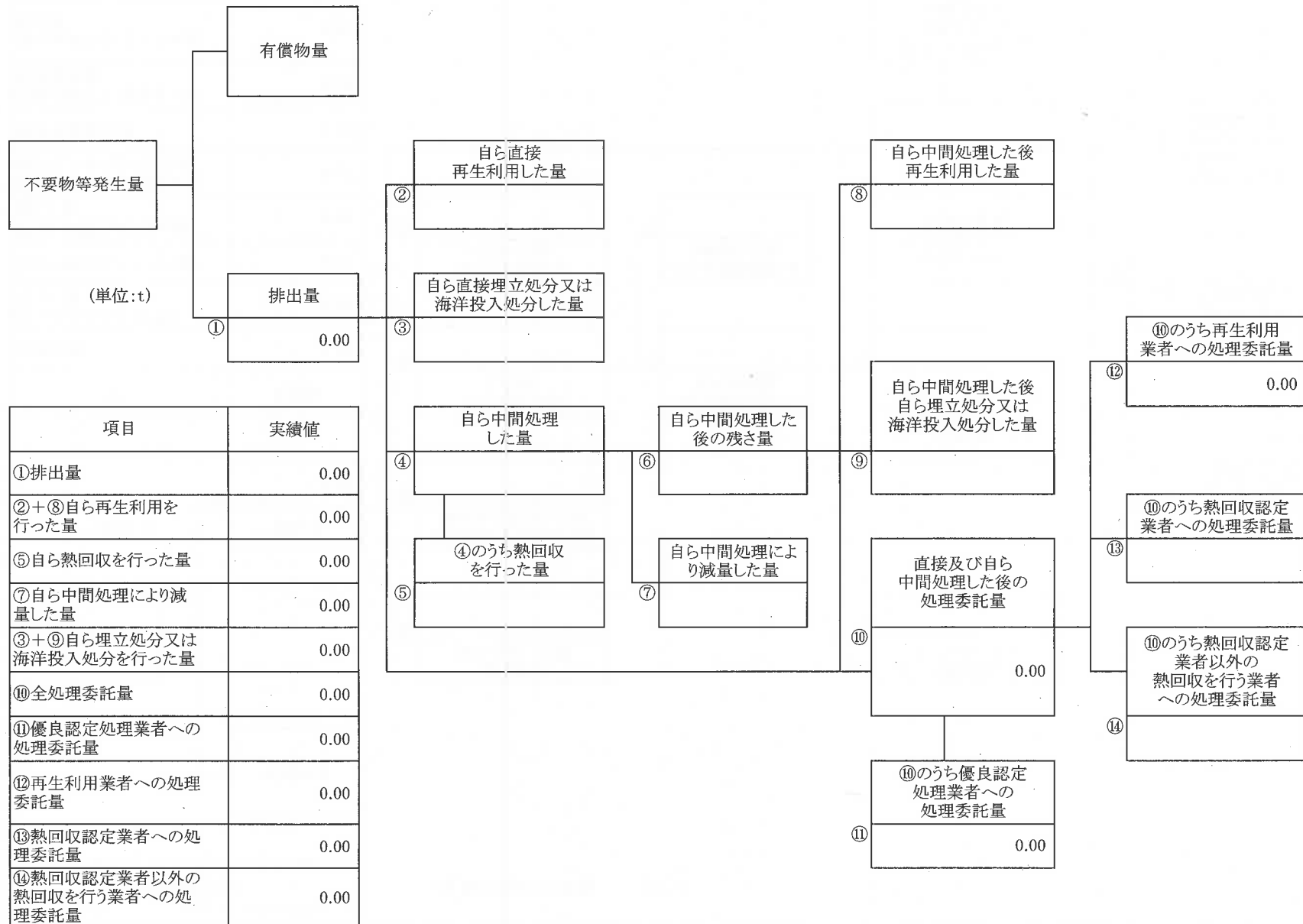
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



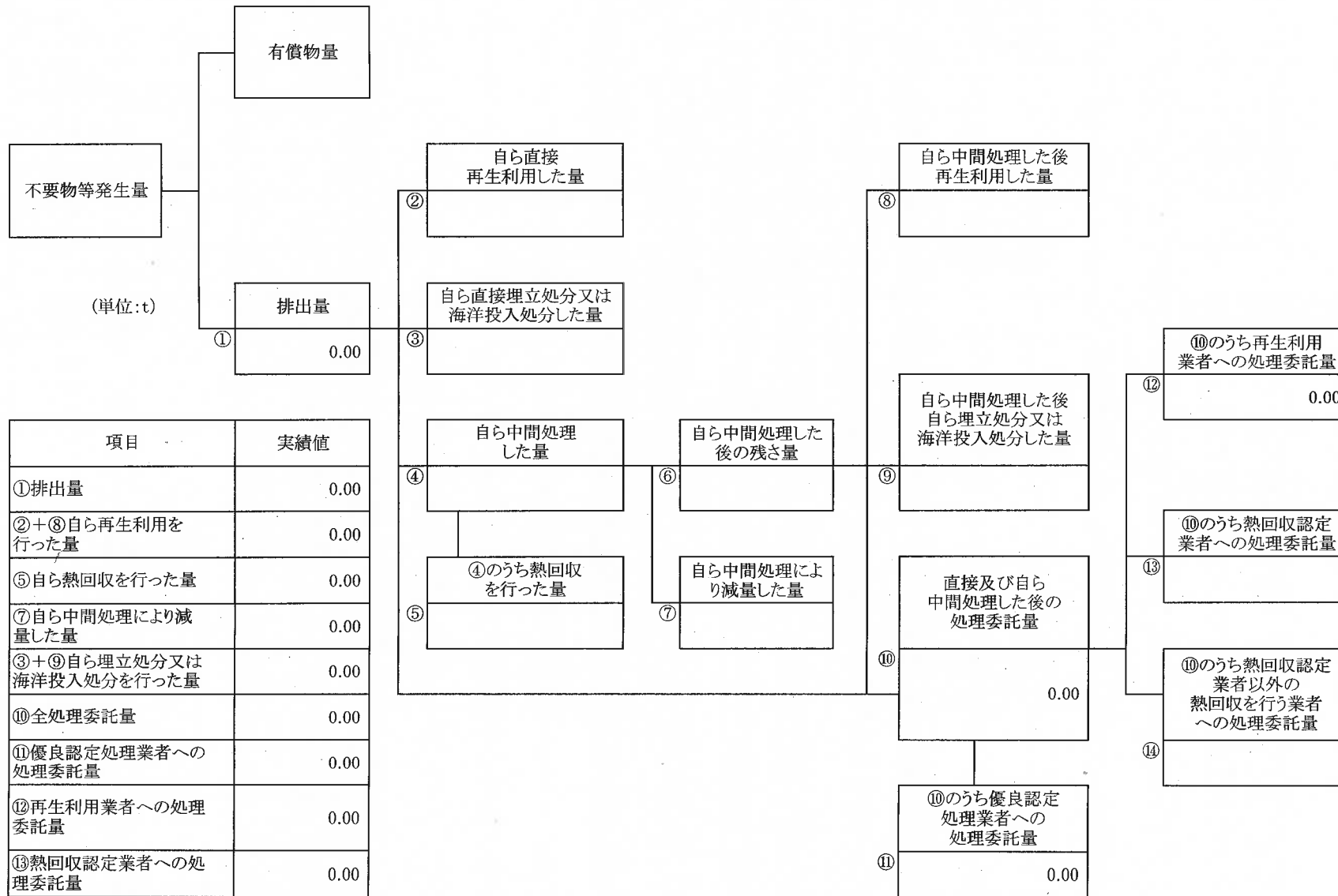
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品 )



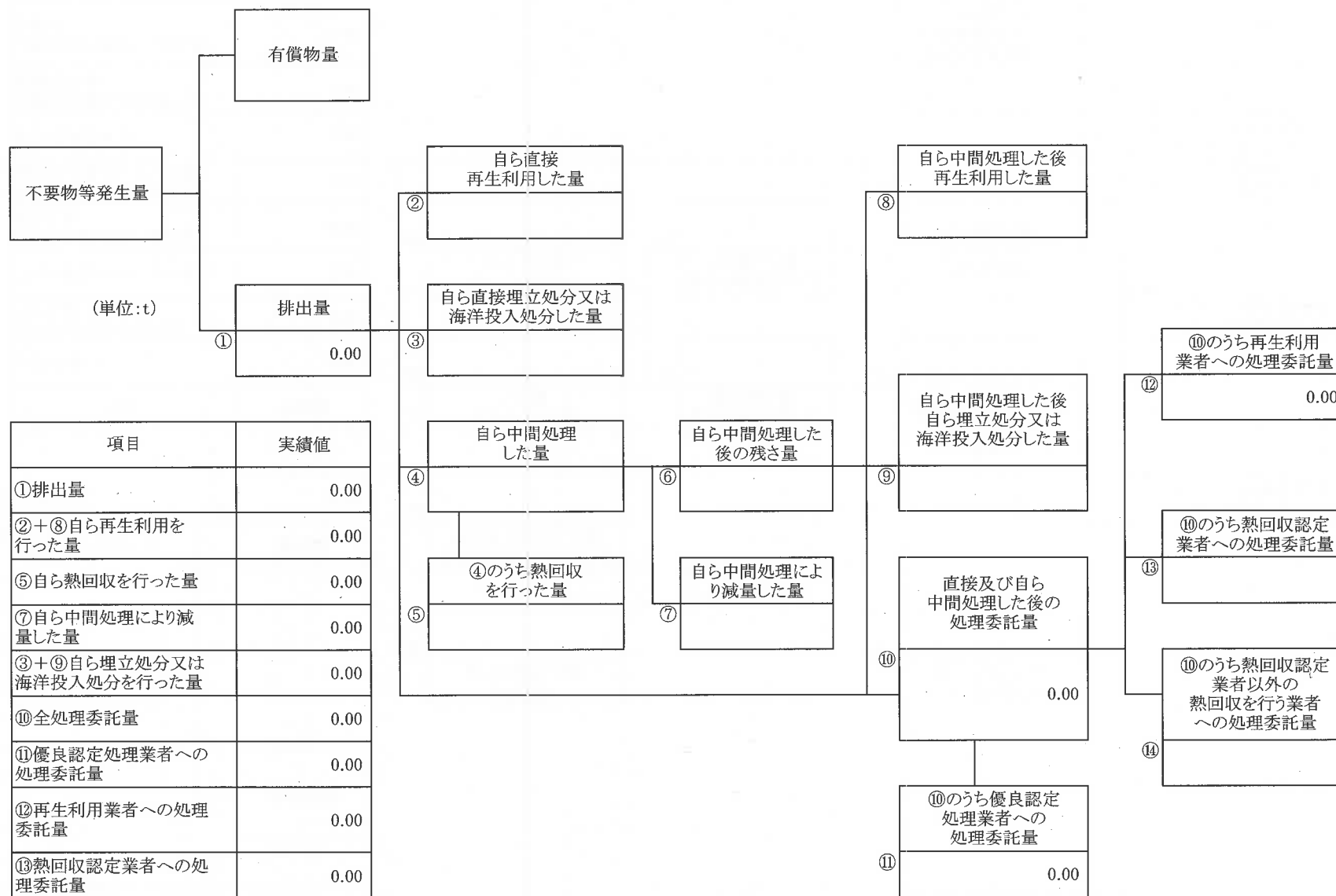
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 乾電池)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。